



NO! OSPREY

# 横田基地にも **日本にも** オスプレイはいらない

## 11.13 東京大集会

**日時** 2022年11月13日 **日**

13:00 青年平和スピーチ  
13:45 開会

**会場** 福生市・多摩川中央公園

レジャーシートなどをご持参の上、  
座りながらご参加ください。

**アクセス** JR青梅線「牛浜駅」より徒歩15分

### プログラム(予定)

- 国会報告
- メインスピーチ
- アピール行進を予定



くわしくはホームページを  
ご覧ください。

<https://www.noospreytokyo.org>



マスク着用など新型コロナウイルス感染症の対策をとったうえでご参加ください。

安全な空を  
取りもどそう

## 危険なオスプレイはいりません

2018年、米空軍の特殊作戦機CV22オスプレイ5機が、横田基地（東京都福生市など5市1町）に正式配備されました。米軍は2024年頃までに10機態勢とするとし、2021年7月、6機目を追加配備しました。覆いかぶさるような爆音にさらされている住民も基地周辺の自治体も納得していません。

いま東京の空は過密です。羽田空港の増便を理由に23区上空で民間航空機が低空飛行しているなか、飛行ルートの重なる千葉県・木更津自衛隊基地にオスプレイが暫定配備がされています。横田基地へのオスプレイ配備・増強は衝突・事故の危険性をいっそう高めるものです。米軍は都心上空を航空法を無視した低空飛行を繰り返していることも明らかになっています。安全な空を取りもどすために、配備・増強を撤回させましょう。横田基地もなくしましょう。



### オスプレイって 何につかうの？

オスプレイは、戦争でまさき敵地に乗り込み、暗殺や拉致することを目的にした軍用機です。侵略、先制攻撃・特殊作戦に使われるオスプレイの配備は、米軍と自衛隊が一体となって、東京・首都圏から出撃することを意味します。

### オスプレイ クラッチ不具合で死亡事故 飛行再開は許されない

横田基地に配備されている6機を含め、米空軍はCV22オスプレイを今年、クラッチの不具合を理由に全機地上待機させました。3月にノルウェーで飛行中のオスプレイがこの不具合を起こし墜落、乗員4人が死亡し、6月には米国カリフォルニア州で墜落、乗員5人が死亡したからです。

米軍は、回転翼のギアボックスとエンジンをつなぎ、動力を伝達するクラッチが何らかの原因で滑り、「制御できない着陸」となりうると説明。しかし、米軍は事故原因不明のまま飛行を再開しています。ふたたび深刻な事故を起こす危険が高まっています。

**主催** オスプレイ反対東京連絡会

事務局  
団体

安保破棄東京実行委員会・自由法曹団東京支部・  
東京地方労働組合評議会・東京平和委員会

連絡先：東京都豊島区南大塚2丁目33-10東京労働会館5F TEL：03-5927-1486 FAX：03-5927-1487

ホームページ：<https://www.noospreytokyo.org> メール：[info@noospreytokyo.org](mailto:info@noospreytokyo.org)

# オスプレイ 90メートルの超低空飛行

## 従来の日米合意も破る無法



市街地で超低空飛行するオスプレイ

日米両政府は、米海兵隊の輸送機MV22オスプレイが低空飛行訓練をする際の最低高度を500フィート（約150メートル）から300フィート（約90メートル）に下げることによって合意しました。これまでの日米合意は、人口密集地以外の地域で「最低安全高度」を150メートルとする日本の航空法に準じ、500フィート以上としてきました。今回の合意はこれをほごにし、さらに危険な低空飛行を可能にするものです。こうした無法な行為は決して許されません。

日本の航空法は、航空機の最低安全高度以下での飛行を禁じています。しかし、日米地位協定の実施に関する航空法の特例法によって在日米軍にはこの基準が適用されないことになっており、実際、米軍機による最低安全高度以下の低空飛行が各地で確認されています。

そうした無法がつづくなか、今回の日米合意によって米軍は90メートルでの超低空飛行にお墨付きを与えられたのです。米軍は「実践的な訓練の実施を通じ、(米軍の) 即応性を向上させる」ことができるとあからさまで。今後、常態化の恐れがあります。

米軍の言う「実践的な訓練」とは、日本の南西諸島やフィリピンなどの島々に多数の小規模部隊を展開させて前進拠点を構築し、中国軍を攻撃するというものです。中国との戦争を想定した米国の軍事戦略に基づき、戦闘即応体制を強化する低空飛行訓練や日米共同訓練を中止すべきです。

## 東京の空を米軍が支配

### 米軍機 都心低空飛行が続発

毎日新聞による報道で、横田基地と麻布米軍ヘリ基地(港区六本木)を結ぶ都心上空で、米軍ヘリによる異常な低空飛行が日常化している実態が明らかになりました。新宿駅周辺のビルの間を縫うように、航空法に違反する高度200mほどで飛ぶなど、一歩間違えば大事故になる低空飛行を繰り返しています。

東京23区を含む首都圏上空には、米軍最優先の「横田空域」が勝手に設定され、日本の航空機はここを米軍の許可なしに飛べないことから、東京上空は過密になっています。このような都心低空飛行を繰り返すのはあまりに横暴です。

自由で安全な東京の空を取り戻すため、日米地位協定を見直して米軍に日本の法律を守らせることが、まず必要です。

